

# 令和5年度美術刀剣製作技術保存研修会 作刀技術実地研修会実施報告

昨年に続き本年も作刀実地研修会が無事に開催されました。

この研修会は、若手刀匠を中心とした作刀技術の向上を図ることを目的として、昭和58年より開設され、今年で41回目となります。本研修会は1年目を「鍛錬」、2年目を「素延・火造」、

3年目に「焼入れ」を行い、3カ年を以て修了するカリキュラムを組み、この3工程を全て終えると、研修修了となります。

本年の研修は「焼入れ」をテーマにし、「各種玉鋼の効果的使用法」として銃の下げも行いました。また参加者

の中には作刀免許取得前の聴講生もあり、同時並行で鍛錬や銘切りの研修も一部行われました。

研修初日には開講式が行われ、奥出雲町の糸原保町長、鳥上木炭銃工場岩田正人工場長、木原明村下からご挨拶を頂戴し、本講習会への歓迎の言葉を頂きました。4日間の短期間ではありますが、高見一良講師の熱の入ったご指導と、受講生の真摯な姿勢により非常に内容の濃いものとなりました。最終日前日には、毎年恒例となる玉鋼の選別と販売が行われ、受講生はそれぞれ思い思いの玉鋼を選び、購入してお

りました。

最終日の閉講式では、木原村下からの挨拶と、高見講師からの講評及び修了証書の手交が行われました。「この研修で培った技術を現代刀職展にて発表し、また来年の研修会にて技術習得に励むことを望む」との講師の言葉に受講生は気を引き締め、それぞれ帰路につきました。

高見講師には、ご多忙にも関わらず大変熱心な御指導をいただきました。衷心より厚く御礼申し上げます。また講習会の実施にあたり数々のお骨折りを頂いた鳥上木炭銃工場の職員の皆様には、この場をお借りして御礼申し上げます。

糸原町長の「挨拶



岩田工場長の「挨拶



木原村下の「挨拶



## 実施日

9月27日(水)～9月30日(土)

会場 日刀保日本刀鍛錬道場

講師 高見一良(國一)

研修生 岡山県 富岡慶一郎(慶正)

岐阜県 宮田剛志(正寿)

静岡県 内田善基(義基)

福島県 二瓶貴大

山根県 山内寿夫

(たたら・伝統文化推進課主任 武田耕太郎)



鍛錬に励む受講生



炭切り



銘切り



講師による土置き



講師による指導



受講生による土置き



講師による講評



修了証書の授与